名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

世界とつながり、
研究の可能性を広げる

国境を越えて研究するということ

― 海外でのキャリア形成と国際頭脳循環の未来 ―

日本から、
世界へ。
研究がつながる、
未来がひろがる。

Brussels

日時 2026年11月12日（木）
15:00～16:30

場所 名古屋大学 NIC館 1F
Idea Stoa（対面開催）

開催趣旨

本セミナーでは、海外での研究経験を持ち、科学技術外交や国際頭脳循環の促進にも携わってこられた松本健氏をお招きし、海外で研究する意義や国際的なキャリア形成についてお話しいただきます。
また、意見交換を通じて、若手研究者の海外挑戦や国際頭脳循環を支える大学の役割について考えます。
海外での研究に関心のある学生・研究者をはじめ、国際交流や研究者支援に携わる教職員など、どなたでも歓迎します。

プログラム

- 15:00–15:05 イントロダクション
- 15:05–15:45 講演
  「国境を越えて研究するということ
  ー海外でのキャリア形成と
  国際頭脳循環の未来」
- 15:45–15:55 質疑応答
- 15:55–16:00 休憩
- 16:00–16:30 フリー・ディスカッション

※プログラムは変更となる場合があります。

講師

松本 健 氏

（まつもと けん）
ブリュッセル自由大学(VUB)
上級研究員

外務省 駐EU日本政府代表部
前・科学技術フェロー



プロフィール

博士号（医学）を取得後、日本学術振興会（JSPS）海外特別研究員として欧州に留学。現在はブリュッセル自由大学（VUB）の上級研究員として研究に従事し、外務省駐EU日本政府代表部の科学技術フェローとして、EUの科学技術協力や国際頭脳循環の促進に携わってきた。
その経験を活かし、若手研究者の海外挑戦や国際的なネットワーク形成をテーマに、国内外での講演や政策提言、大学・研究機関との連携活動にも取り組んでいる。

対象

本学の教職員・学生
（研究者、大学院生、URA、国際交流・研究者支援に携わる教職員など、どなたでも参加いただけます）

参加申込

事前登録制・参加無料（先着 80名）
右のQRコードまたは
下記URLからお申し込みください。
https://forms.gle/khQS8PvPvo1aZYfk9

参加申込はこちら

主催 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 研究支援・人材育成部門
（GMC機構／国際共同研究・国際産学官民連携ユニット）

お問い合わせ ishigaki.naoko.e4@f.mail.nagoya-u.ac.jp